

# 第19期 中間株主通信

2018年4月1日 >> 2018年9月30日



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第19期第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日まで）における営業の概況と決算の状況をご報告申し上げます。



「アデック木目」 55Fウォールナット



代表取締役社長

巻野 徹

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全国各地で相次ぐ自然災害が経済に与える影響や米中の通商政策の動向が世界経済に与える影響が懸念されるなか、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな景気回復基調のうちに推移しました。

当社グループの主な事業領域である建設・建材業界では、東京都心部を中心とした再開発事業や、2020年東京オリンピック・パラリンピック関連工事等により、建設需要は高水準が続いております。

工業製品・エンジニアリング事業領域では、造船業界における国内各造船所の建造隻数は減少傾向が続きましたが、電力業界では火力発電所のメンテナンス需要が全国的に底堅く推移しました。

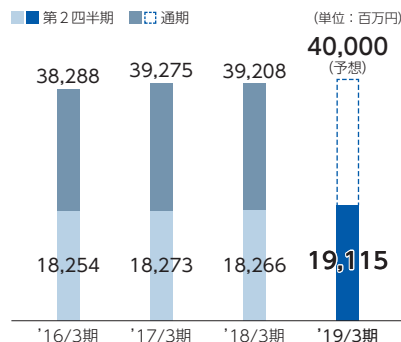
このような環境の下、当社グループは「2020中期

経営計画（2018年度～2020年度）」に基づき、労働生産性の向上、積極的な開発・投資、事業領域の拡大に取り組み、企業価値の向上に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は完成工事高8,593百万円を含み19,115百万円（前年同期比4.6%増収）、営業利益1,205百万円（前年同期比12.9%増益）、経常利益1,140百万円（前年同期比19.1%増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益717百万円（前年同期比49.6%増益）となりました。

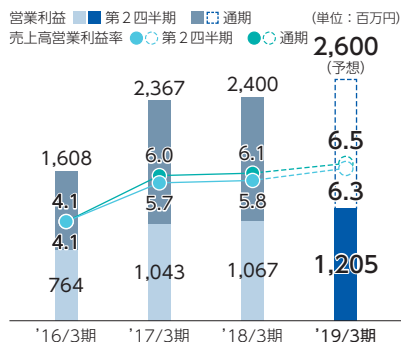
営業の概況は以上のとおりでございますので、株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結財務ハイライト／通期の見通し

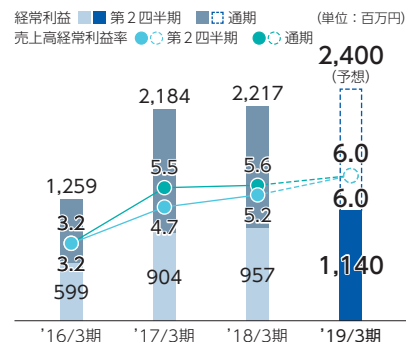
## 売上高



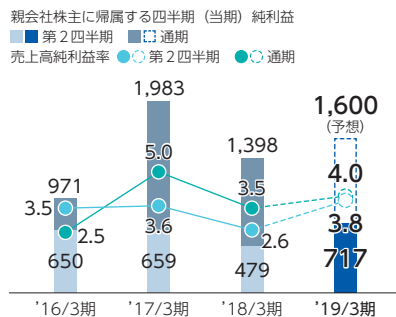
## 営業利益／売上高営業利益率



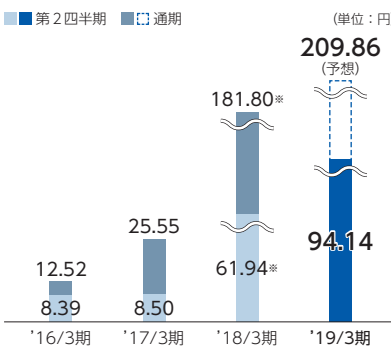
## 経常利益／売上高経常利益率



## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 売上高純利益率



## 1株当たり四半期(当期)純利益



※2017年10月1日付で当社普通株式10株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。'18/3期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

## 通期の見通し

2019年3月期  
連結業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	2019年3月期 配当予想
400億円 ( '18/3期比2.0%増 )	26億円 ( '18/3期比8.3%増 )	24億円 ( '18/3期比8.2%増 )	16億円 ( '18/3期比14.4%増 )	1株につき 30円 ( '18/3期比5円増 )

# 事業概況 ~ 当社グループの製品は日々の暮らしの中で活躍しています ~

## 建設・建材事業部門

売上高 **9,112** 百万円 (前年同期比 **14.7** %増)

### 材料販売

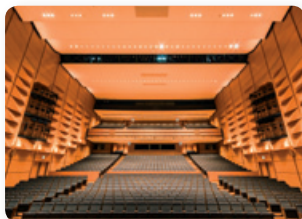
主力商品である けい酸カルシウム板「ハイラック」及び曲面施工が可能なオリジナル商品「エフジーボード」が国内外の堅調な需要を受け、前年同期を上回る出荷状況となりました。また、内装不燃化粧板の施工現場での施工時間を短縮し、廃棄物の量の低減となる、テープのみで施工が可能な新たな工法「ステンドSpeed工法」を開発いたしました。耐火二層管は、市場ニーズの高い遮音管がホテル向けに伸びると共に、オリンピック関連施設等への出荷が堅調に推移しております。材料販売全体の売上高は増収となりました。

### 工事

強みである施工力を活かし、首都圏の再開発事業、全国的に物流、宿泊施設向けの耐火被覆工事は旺盛な工事引き合いが続いており、前年同期を大きく上回りました。また、当社の内装化粧板を使用した建材工事も好調に推移しました。



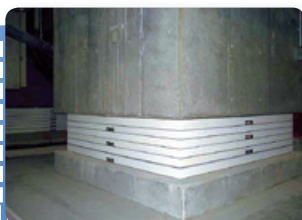
浅野耐火パイプ



エフジーボード



ハイラック



護免火



ステンドシリーズ



ビューワイドN

## 工業製品・エンジニアリング事業部門 売上高 9,976 百万円 (前年同期比 3.1%減)

### 材料販売

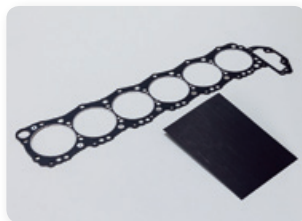
鉄鋼関連ではステンレスメーカー向け炉内搬送ロール「ディスクロール」が海外を中心に堅調に推移いたしました。プラント関連では、火力発電所の定期修繕工事に加え、積極的な設備診断の実施によりメンテナンス需要の開拓に取り組み、非金属製伸縮継手「APコネクター」は、安定的に推移しております。また、自動車関連では国内の軽四輪車向け等にブレーキライニングは好調な出荷状況が続きました。船舶向け防熱材は建造隻数が弱含むなかにあっても安定した需要を保ち、前年同期並みとなりました。材料販売全体の売上高は減収となりました。

### 工事

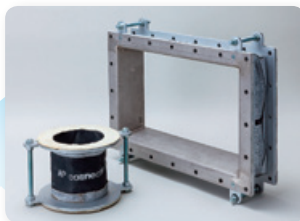
プラント向けメンテナンス工事をはじめ、物流倉庫パネル工事、冷凍船等の防熱工事、保温廃材の減容処理工事等、好調な需要環境が続いておりますが、完成工事高は前年同期より減収となりました。この主な要因は工期の遅れ等によるものですが、年間を通じて計画どおり推移するものと考えております。

## その他

売上高 26 百万円 (前年同期比 9.1%増)



セミメタリックガスケットシート



APコネクター



卵形タンク外装工事



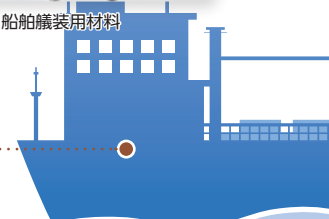
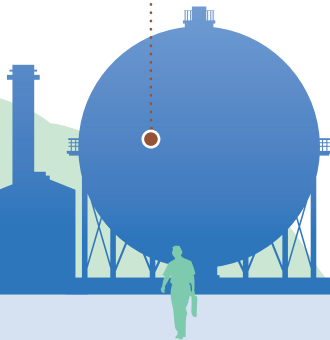
LNG保冷配管工事



ブレーキライニング



船舶艦装用材料



# エーアンドエーマテリアルグループ会社のご紹介

## アスク・サンシンエンジニアリング株式会社

Ask Sanshin Engineering Corporation

### 会社概要

設立 1989年11月6日（平成元年）  
資本金 4億5,000万円  
代表者 代表取締役社長 矢野 裕也  
所在地 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号  
TEL 045-503-7811（代表）  
HP <http://www.askcorp.co.jp/>

### 業務内容

プラント部 火力発電所や工場、化学プラント施設等の保温・保冷工事の設計・施工管理など  
建装部 冷蔵・冷凍倉庫等の外装・内装・防熱工事、冷凍運搬船等の保冷工事など  
ビル設備部 高層ビル等の空調設備の保温・保冷工事など  
環境エンジニア部 大型施設等に施工された吹付石綿の除去など

昭和9年に、初めて保温工事を手掛けて以来、私たちは常にユーザーのみなさまの声を傾け、熱エネルギーの未来を見つめ、たゆまぬ技術の深耕によって、産業界の要請に応えてきました。こうした企業理念と社風は、会社が発足してから今日に至るまで、より発展的に受け継がれ、設計施工の枠を超えて、プラント建設の企画段階から温度管理の技術ノウハウを統括するエンジニアリング企業として、数多くの実績をあげております。

私たちがめざす快適な環境は、エネルギー資源の節約と防災や低公害技術によって、生活環境および地球環境にも配慮することが可能になると考えます。そのためには、生産から消費、再利用までの連関を視野に入れた環境エンジニアリングが不可欠であり、現在そうした分野に総力をあげて取り組んでおります。



## 2018CSRレポートを発行しました。



2017年度における当社グループのCSR活動について、「2018CSRレポート」を2018年9月に発行いたしました。

当社グループは2008年度から昨年度まで「環境報告書」として、環境負荷低減や環境活動を中心とした報告をしてまいりました。しかし、企業に求められる内容は年々多岐に渡り、社会的に責任ある報告が必要となっています。本レポートは、当社グループのCSR（企業の社会的責任）活動について幅広い情報をまとめました。

巻頭に、株式会社エーアンドエーマテリアル代表取締役社長 巻野徹からのあいさつとして企業姿勢や社会的課題に対する取り組みなどについて掲載しました。またコーポレートガバナンス体制やコンプライアンス方針についての報告や、環境活動、ステークホルダーとのつながりについて掲載しています。トピックスとして2018年5月に開示した「2020中期経営計画」や従業員の声、環境に配慮した新工法の紹介など、盛りだくさんの内容となりました。



# 会社概要／株式の状況 (2018年9月30日現在)

## 1. 会社概要

商号	株式会社エーアンドエーマテリアル
住所	横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号
設立	1924年3月4日(大正13年)
電話	045-503-5760(代表)
資本金	38億8千9百万円
従業員数	879名(連結) 223名(単体)
子会社	アスク・サンシンエンジニアリング株式会社 株式会社アスクテクニカ エーアンドエー工事株式会社 朝日珪酸工業株式会社 株式会社エーアンドエー茨城 株式会社エーアンドエー大阪 関東浅野パイプ株式会社

## 2. 株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株 (1単元 100株)
発行済株式総数	7,760,096株 (自己株式17,904株を除く。)
株主数	4,839名

## 3. 役員

### 取締役及び監査役

代表取締役社長	巻野 徹	取締役(社外)	田倉 榮美
取締役専務執行役員	中村 宏之	取締役(社外)	東海 秀樹
取締役常務執行役員	瀧口 浩一	常勤監査役(社外)	毛利 裕
取締役常務執行役員	新川 篤志	常勤監査役	大和田 彰
取締役執行役員	侯 雷	監査役(社外)	松井 功
取締役執行役員	弟子丸 茂明		

### 執行役員

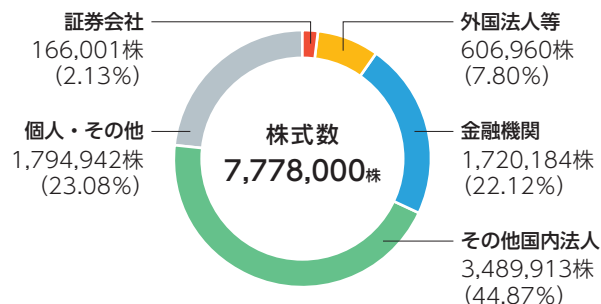
執行役員	来嶋 久雄
執行役員	太見 健志

## 4. 大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
太平洋セメント株式会社	32,915	42.41
MSIP CLIENT SECURITIES	2,835	3.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,613	3.36
明治安田生命保険相互会社	2,313	2.98
株式会社みずほ銀行	2,013	2.59
株式会社三井住友銀行	1,884	2.42
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	1,362	1.75
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,235	1.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,025	1.32
株式会社不二商会	855	1.10

(注) 持株比率は、自己株式17,904株を控除して計算しております。

## 5. 所有者別分布状況



## WEBサイトのご紹介

当社では企業活動に関するお知らせや資料などをWEBサイトに公開しており、随時最新版が同サイトで確認できるようになっております。

検索 エーアンドエーマテリアル 検索

<http://www.aa-material.co.jp>



トップページ



IR情報トップ

## 株主メモ

### 事業年度

4月1日～翌年3月31日

### 剰余金の配当基準日

3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）

### 定時株主総会

毎年6月中

### 単元株式数

100株

### 株主名簿管理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

### 公告方法

電子公告（<http://www.aa-material.co.jp>）  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取り方法 の変更等)		みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 *トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行 及び みずほ銀行の本店 及び 全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

**AAAM** 株式会社エーアンドエーマテリアル

〒230-8511 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号  
電話 045 (503) 5760 (代表)

**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

